

## 令和元年度第2回上越市健康づくり推進協議会次第

と き 令和2年2月19日(水) 午後7時～8時30分  
ところ 上越市役所木田第1庁舎 401会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

- (1) 上越市の健康に関する現状と課題について
- (2) 令和元年度の保健活動の取組状況について
- (3) 次年度に向けての課題について
- (4) その他

4 閉 会

## 上越市健康づくり推進協議会 委員名簿

(任期: 平成31年4月1日～令和3年3月31日)

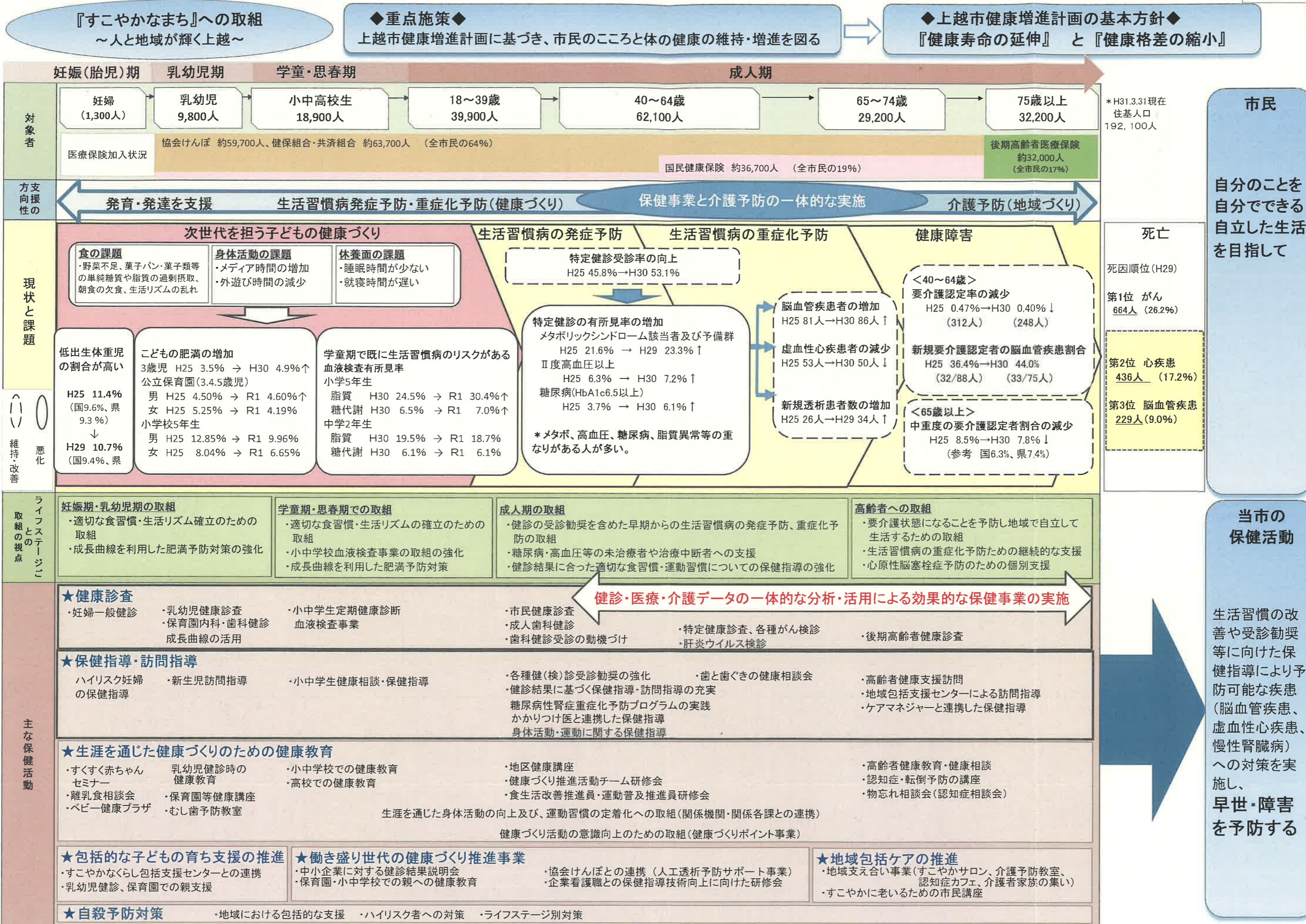
(敬称略・順不同)

委員名	所属等	選出区分
林 三 樹 夫	一般社団法人 上越医師会 理事	医療関係団体
高 橋 慶 一	一般社団法人 上越医師会 副会長	
山 岸 公 尚	一般社団法人 上越歯科医師会	
上 野 憲 夫	一般社団法人 上越薬剤師会 理事	
上 野 光 博	上越教育大学 保健管理センター所長	学識経験者
高林知佳子	新潟県立看護大学 准教授	
田 中 公 彦	柔道整復師	公募市民
篠 田 奈 穂	理学療法士	
飯 塚 俊 子	上越地域振興局 健康福祉環境部 地域保健課長	関係行政機関
野 澤 朗	上越市教育長	
坪 井 円 香	公益社団法人 新潟県栄養士会 上越支部 支部長	民間団体
橋 爪 隆 之	直江津電子健康保険組合 常務理事	
保 坂 正 人	上越地域居宅介護支援事業推進協議会	
平野恵美子	新潟県立有恒高等学校 養護教諭	教育関係団体
梅 澤 朋 裕	上越市小中学校PTA連絡協議会 副会長	
中 戸 賢 裕	上越市私立幼稚園連盟 会長	

令和元年度 第2回  
上越市健康づくり推進協議会

と き 令和2年2月19日(水)

ところ 上越市役所木田第1庁舎401会議室



# 令和元年度 学童血液検査事業まとめ

## 資料 2

### 1. 血液検査実施率の推移

- ・令和元年度小学校の糖代謝検査実施率は63.5%であり、H30年度と比較して21.5%増となっている。
- ・令和元年度中学校の糖代謝検査実施率は48.1%であり、H30年度と比較して15.6%増となっている。

小学校	血液検査実施状況				血液検査結果			
	対象者数	実施者数(実施率)		要生活指導者数(率)		要精検者数(率)		
		脂質検査	糖代謝検査	脂質検査	糖代謝検査	脂質検査	糖代謝検査	
H30	1,622	1,357(83.7%)	681(42.0%)	264(19.5%)	/	68(5%)	44(6.5%)	
R1	1,603	1,357(84.7%)	1,018(63.5%)	317(23.4%)		95(7%)	71(7%)	

中学校	血液検査実施状況				血液検査結果					
	対象者数	実施数			要生活指導者数(率)			要精検者数(率)		
		脂質検査	貧血	糖代謝検査	脂質検査	貧血	糖代謝検査	脂質検査	貧血	糖代謝検査
H30	1,555	1,138(73.2%)	1,138(73.2%)	505(32.5%)	158(13.9%)	36(3.2%)	/	64(5.6%)	56(4.9%)	31(6.1%)
R1	1,443	1,081(74.9%)	1,081(74.9%)	694(48.1%)	144(13.3%)	39(3.6%)		58(5.4%)	52(4.8%)	42(6.1%)

### 2. 精密検査受診状況(R2年1月現在)

- ・令和元年度小学校の精密検査実施率は77.5%であり、H30年度と比較して4.3%増となっている。
- ・令和元年度中学校の精密検査実施率は73.4%であり、H30年度と比較して2.5%増となっている。

小学校	対象者数	受診者数(率)	精検結果	
			要生活指導	要医療
H30	112	82(73.2%)	44(53.7%)	3(3.7%)
R1	160	124(77.5%)	46(37.1%)	2(1.6%)

中学校	対象者数	受診者数(率)	精検結果	
			要生活指導	要医療
H30	141	100(70.9%)	33(33.0%)	11(11.0%)
R1	139	102(73.4%)	32(31.4%)	22(21.6%)

### 3. 保健指導の実施状況(R2年1月現在)

- ・令和元年度事後個別指導について、小学校30校、中学校16校に実施。
- ・令和元年度事後個別指導について、小学校は有所見者のうち32.8%、中学校は有所見者のうち51.3%に個別保健指導を実施。

小学校 (50校)	事前指導		事後指導			
	(再掲) 保健師・栄養士が実施	集団	個別			
			学校数	有所見者数	個別保健指導実施数	
H30	34校	18校	41校	18校	363	106
R1	28校	22校	38校	30校	454	149

中学校 (22校)	事前指導		事後指導			
	(再掲) 保健師・栄養士が実施	集団	個別			
			学校数	有所見者数	個別保健指導実施数	
H30	8校	4校	13校	10校	249	106
R1	12校	8校	12校	16校	298	153

### 4. 今年度の評価及び次年度の方向性

- |                             |   |   |
|-----------------------------|---|---|
| ①血液検査の実施率が小学校中学校ともに増加している。  | ➡ | ①事前指導や説明資料を工夫し、実施率の向上を目指す。                |
| ②精密検査の受診状況が小学校中学校ともに増加している。 |   | ②すべての小・中学校で事後指導を実施する。<br>特に個別保健指導実施校を増やす。 |
| ③個別での事後指導実施校が増加している。        |   | ③有所見者に対する個別保健指導実施率の向上を目指す。                |
| ④有所見者に対する個別保健指導の実施率が増加している。 |   |   |

血液検査を受けた子どもの実態

資料3

学年	No	性別	肥満度 (判定)	総コレステロール	HDLコレステロール	LDLコレステロール	中性脂肪	HbA1c	Hb	家族歴	生活習慣			
											食生活の状況	間食の状況	身体活動の状況	生活リズム
小5	1	女	34.6% (肥満)	183	46	118	95	5.5		・姉肥満。 ・朝は菓子パンと牛乳を食べることが多い(低脂肪がよいと思って変えてみたが、続かなかった) ・野菜が嫌い。給食は頑張って食べているが、家では食べない。ドレッシングをたくさんかけて食べる。 ・油料理、肉料理が多い。チーズが好き。	・祖父母の家でアイス食べる。	・血液検査実施後、さらに体重増加し、活動量が減った。		
	2	男	8.8% (普通)	252	53	178	104	5.1	・父、父方祖父コレステロールが高い。	・牛乳(600ml/日以上)飲んでいる。 ・ポップコーンをよく食べていた。 ・肉が好きで、基準量より少し多く食べている。	・甘い菓子類は、ほとんど食べていない。米菓が好き。	・3回/週、野球をしている。野球がない日は、あまり動かない。	・6:30に起床、21:30に就寝している。	
	3	女	4.8% (普通)	203	44	127	162	5.6	・祖父母は高血圧。	・好き嫌いなく何でも食べている。祖母が作っているため、味付けが濃い。 ・母は朝ごはんを用意しているが、(母の)出勤時間が早く子どもと一緒に朝食を食べていないため、どのくらい食べているか把握できていない。 ・おかずを中心に食べ、主食(ごはん)を残すことが多い。	・甘いものが好き(アイス等) ・夕食後20:00頃に、「お腹がすいた」と言って果物を食べる。	・週に1回水泳をしている。	・7:00に起床、22:00に就寝している。	
	4	男	-6.9% (普通)	199	51	122	131	-	・姉も中学校の血液検査でコレステロール値が高めだった。	・野菜の摂取量が少ない。 ・肉は1食で1日の基準量以上に多く食べている。	・帰宅後に果物(みかんSサイズ5個)を食べたり、ジュース(オレンジジュース200ml×2)を飲んだりしている。 ・あめやガミが好き。	・自転車に乗って出かけることが多い。	・6:50頃に起床している。 ・夕食は姉の帰宅を待ち、20:00頃に食べている。	
	5	女	10.3% (普通)	194	36	132	131	5.2	・祖母と父が高脂血症で内服治療中。母は今年の健診結果でLDLの値が少し上がった。	・偏食があり、嫌いなものは絶対に食べない。 ・きゅうりやトマトは食べられるが、緑黄色野菜(葉物野菜)が苦手で、基準量よりも少ない。イモ類は好んで食べている。 ・チーズが好きで、自分でパンにチーズをのせて焼いて食べる。 ・牛乳が好きで400ml/日以上飲む。バレーボールの練習後は、必ず牛乳を飲んでから就寝している。 →面談後、牛乳はコップ1杯に、チーズも減らした。味噌汁に緑黄色野菜をいれて少しずつ食べている。再検査の結果、LDL132→114に改善。	・バレーボールの時に、差し入れで菓子パンをもらって食べることもある。 ・バレーボール前におにぎりを食べている。 ・帰宅後、おやつに柿の種を1~2袋、他にも米菓を食べている。 ・ヤクルトは1回に2本飲む。 →ヤクルトを1本/日に減らした。	・バレーボールを3回/週している。 ・バレーボールのない日は、家でゆっくり過ごすことが多い。	・バレーボールの練習がある日は、21:00過ぎに帰宅後、牛乳を飲んでから就寝している。 ・起床時間は規則的。	
	6	女	-4.7% (普通)	194	70	104	99	-	・父のコレステロール値が、やや高めかもしれない。	・果物が好きで、目安量以上に食べている。 ・野菜全般が苦手。小さく切ったり、好きな料理に入ると食べる。 ・ご飯の量は少なく、茶わん半分、100gくらい食べている。 ・好きなものから食べている。(三角食べができない)	・甘い菓子類が好き。菓子がないと自分で買いに行ってしまう。	・2回/週バスケットボールをしている。	・学校からの帰宅後にパンやお菓子を食べる。 ・バスケットボールの練習の日は、21:00に帰宅し夕食を食べ、夕食後はすぐに就寝している。	
中2	7	男	41.4% (肥満)	170	33	90	406	-	14.8	・不明	・朝食は欠食することがある。 ・朝食を食べない代わりに、夕飯の量が増えた。 ・野菜は好きな野菜しか食べない。	・炭酸飲料等のジュースが好き。	・水泳部に所属。けがをして、1か月半程度部活に参加できなかった。	
	8	女	-1.8% (普通)	218	73	74	354	-	14.1	・父方に糖尿病の傾向あり。	・肉料理が好き。魚料理は嫌い。 ・淡色野菜(きゅうり等)は好きだが、緑黄色野菜は苦手から自ら食べようとしていない。 ・水分摂取量が少ない。便秘気味。	・アイスを2個/週食べる。	・小学校までバレー部に所属していた。 ・中学入学後は、卓球部で体を動かしている。	
	9	女	5.7% (普通)	264	75	178	57	5.2	14.1	・母方祖母は糖尿病である。 ・母はLDLコレステロール値が高めである。	・ご飯(白米)量が少なく、一口程度しか食べない。本人が「ダイエットをしている」と言って食べない。 ・からあげだとたくさん食べてしまい、止まらない。 ・野菜は好んで多く食べる。 ・牛乳は1回に400ml以上飲んでいる。	・おやつはあまり食べない。	・中学に入って、バレー部に所属している。	
	10	男	41.2% (肥満)	133	46	60	137	5.6	13.6	・コレステロール、血糖の高い家族はいないが、母もがっちりとした体格。	・帰宅後、夕飯前に自分でチャーハンや丼ものを調理して食べる。その後、家族と準備された夕飯(1人前)を食べている。 ・肉は基準量の倍以上、白飯は1回に240gは食べている。	・昨年、ヨーグルトにバナナ、砂糖を追加した特性ドリンクを自分で作り、ほぼ毎日飲んでいる。	・文科部に所属。動くことは好きではない。	
	11	男	-14.2% (普通)	174	59	96	95	5.7	13.7	・コレステロール、血糖の高い家族はいない。	・朝食は、ご飯を食べることが多い(パンでは昼までお腹がもたない)。 ・野菜、牛乳が苦手。	・本人が小柄だったこともあり、(両親は)「何でも食べて大きくなってほしい」という思いから、炭酸飲料を好きに飲んでも気に留めていなかった。→本人気になって、ジュース類は面談後一切飲まなくなった。再検査の結果、HbA1c5.7%→5.6%に改善した。	・卓球部に所属している。	・登下校で片道30分間歩いている。 ・朝は早起き。
	12	男	27.0% (肥満)	185	38	112	174	-	15.7	・不明	・野菜は食べる量が少ない。家では、一人ずつ食事を盛り分けていないため、何をどのくらい食べているか、他家族はあまり理解していない。 ・朝食は、ヨーグルトと野菜ジュースのみ。 ・カップラーメンは食べない。	・生クリームが好きで、自分で作りパンケーキ等とあわせて食べる。 ・デニッシュやパイ等の菓子パンが好き。	<保健指導から見てきた生活状況> ・野菜が苦手。食べる量が少ない。 ・朝食を食べない。食べても野菜ジュース等1品のみ。 ・中学生になると、自分でお菓子やチャーハンなどを作って食べている。 ・甘いお菓子、ジュースが好き。 ・習い事や家族の都合により夕食の時間が遅い。 ・家族歴のある子が多い。	

# 高齢者を取り巻く社会保障費の推移と国の動き

資料 4

## 社会構造の変化

- ◎高齢者の増加、社会保障費の増加  
2025年 団塊世代が全て後期高齢者へ
- ◎人口減少による担い手不足  
2040年 高齢者人口がピーク  
現役世代の急減
- ◎共同体機能の脆弱化  
高齢者、単身世帯の増加  
地縁、血縁の脆弱化  
今後 医療費約1.7倍 66兆7000億円  
(2040年) 介護費約2.4倍 25兆8000億円

首相官邸

経済財政諮問会議

2040を見据えた社会保障の課題

予防・健康づくりの取組の抜本的強化  
保険者の予防・健康インセンティブを強化

健康寿命の延伸(生涯現役)  
社会保障費の安定

## 高齢者を支える社会保障

1

後期高齢者医療				介護保険サービス			
	H21年	H30年	比較		H21年	H30年	比較
総費用	12.0兆円	16.3兆円	1.4倍	総費用	6.5兆円	9.1兆円	1.4倍
被保険者数	1,362万人	1746万人	1.3倍	介護認定者数	470万人	645万人	1.4倍
一人当り医療費	88.2万円	93.2万円	1.1倍	1号1人当り費用	22.5万円	25.7万円	1.1倍

医療保険料率(被用者保険)				介護保険料			
保険料率	協会けんぽ	健保組合	比較	保険料	1号	2号	比較
	8.2%	7.5%	1.2倍	1号	4,160円	5,869円	1.4倍
	10.0%	9.2%	1.2倍	2号	4,093円	5,659円	1.4倍
				2号被保		5,723円	1.4倍

※H28～総報酬制導入、企業負担分含む

## 財源(国)

後期高齢者医療		介護保険	
公費(税金)	国	国	
50%	32%(5.2兆円)	25%(2.5兆円)	
	都道府県	都道府県	
	8%(1.3兆円)	12.5%(1.5兆円)	
	市町村	市町村	
	8%(1.3兆円)	12.5%(1.4兆円)	
50%	保険料	1号被保険者(65歳以上)	
	8%(1.3兆円)	23%(2.5兆円)	
	支援金	2号被保険者(40~64歳)	
	41%(6.8兆円)	27%(2.9兆円)	
	公費		

2

後期高齢者支援金  
被用者保険の事業主負担1/2  
H29～全面総報酬制

2号被保険者介護保険料(介護納付金)  
被用者保険の事業主負担1/2  
R2～全面総報酬制  
医療保険者が医療保険料と一体的に徴収

## 上越市

後期高齢者医療				介護保険サービス			
	H21年	H30年	比較		H21年	H30年	比較
総費用	219億円	235億円	1.1倍	総費用	155億円	200億円	1.3倍
被保険者数	29,066人	31,907人	1.1倍	介護認定者数	10,939人	12,546人	1.2倍
一人当り医療費	75.5万円	73.7万円	1.0倍	1号1人当り費用	29.1万円	32.8万円	1.1倍

後期+介護の1人当り費用額の推移				介護保険料			
	H21	H30	比較	1号	4,950円	6,483円	1.3倍
市	104.6万円	106.5万円	1.9万円増				
国	110.7万円	118.9万円	8.2万円増				

## 財源(上越市) 単位:億円

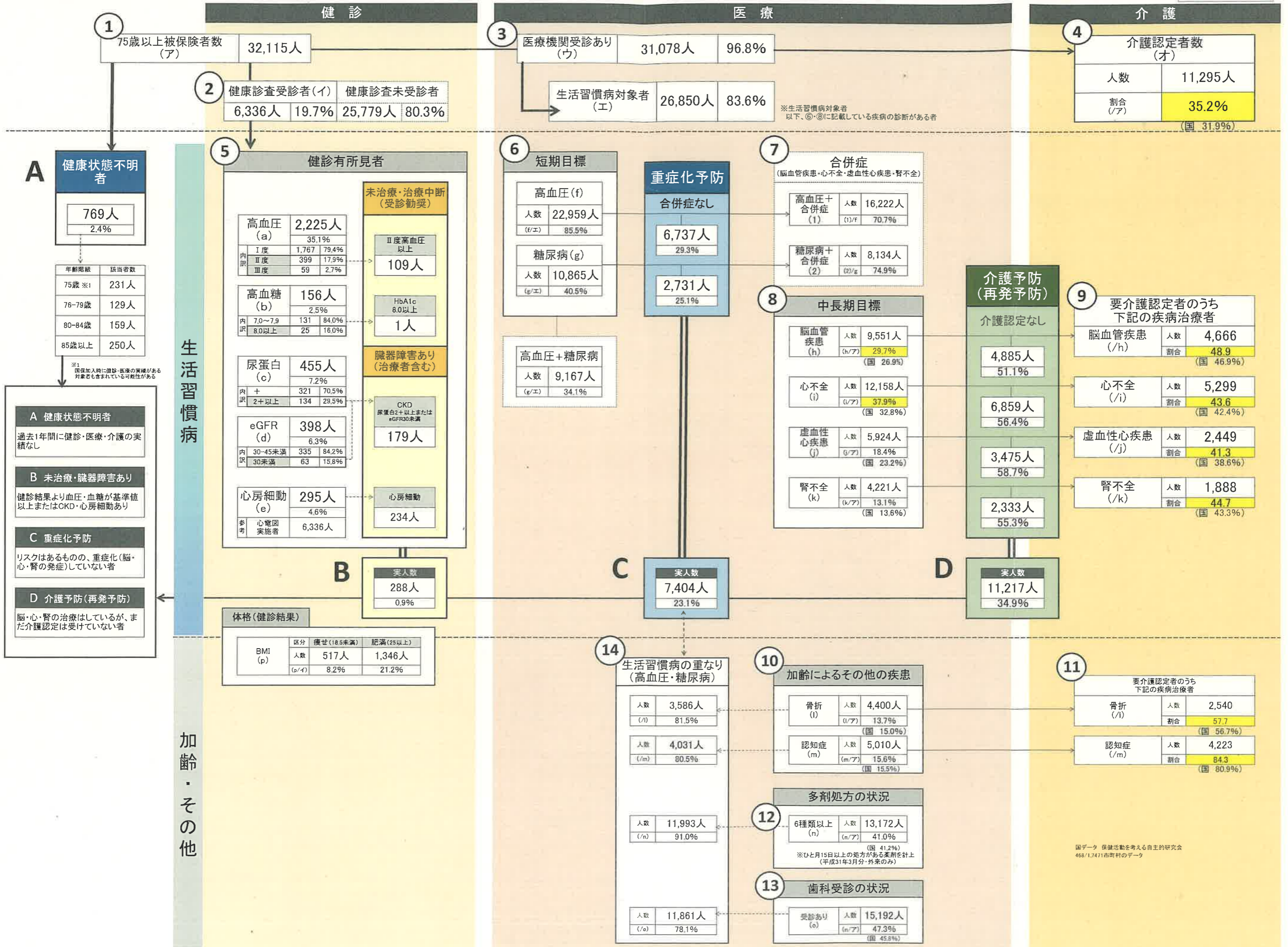
後期高齢者医療				介護保険			
公費(税金)	H21	H30	比較	国	H21	H30	比較
50%				国	40.3	49.2	8.9
				都道府県	24.2	31.5	7.3
				市町村	20.7	26.9	6.2
50%				1号被保険者(65歳以上)	30.6	49.6	19
				2号被保険者(40~64歳)	49.6	58.1	8.5
				公費			

4

## 窓口負担の推移

5

		H8	H9	H13	H14	H18	H20	H26	H27	
医療	被用者保険	1割	2割		3割					
	国保	若人	3割							
		老人	入院1日300円 外来1日400円	入院1日1,000円 外来1日500円	定率1割	1割 (現役並所得者2割)	1割 (現役並所得者3割)	70歳以上 1割 (現役並所得者3割)	新たに70歳になる人から2割負担 75歳以上1割	
介護			1割				1割 (一定所得者2割)	1割 (一定所得者3割)		



国データ 保健活動を考える自主的研究会  
468/1,7471市町村のデータ